

## 生駒市病院事業推進委員会第25回会議会議録

1 日 時 令和3年3月19日（金）  
午後9時00分から午後10時15分

2 場 所 生駒市役所4階大会議室

3 出席者

（1）委員 福並 正剛、溝口 精二、友岡 俊夫、梅川 智三郎、  
栗辻 俊夫、奥田 陽子、志垣 智子、伊木 まり子、  
福田 一仁、遠藤 清

|        |            |        |
|--------|------------|--------|
| （2）事務局 | 市長         | 小紫 雅史  |
|        | 副市長        | 山本 昇   |
|        | 特命監        | 古川 文男  |
|        | 福祉健康部長     | 近藤 桂子  |
|        | 福祉健康部次長    | 石田 浩   |
|        | 地域医療課課長補佐  | 桐坂 昇司  |
|        | 地域医療課主査    | 奥野 佳則  |
|        | 生駒市立病院看護部長 | 辻川 美代子 |
|        | 生駒市立病院事務部長 | 岸田 敏彦  |
|        | 生駒市立病院総務課長 | 吉松 栄作  |

4 欠席者 なし

5 案件

（1）諮問案件

- ・令和3年度に係る生駒市立病院の管理運営に関する年度協定書(案)について

（2）報告案件

- ・令和2年度生駒市立病院中間報告書について

6 会議の公開・非公開の別 公開

7 傍聴者 なし

**【事務局(市)】** 定刻になりましたので、ただいまから「生駒市病院事業推進委員会第25回会議」を開催いたします。

委員の皆様におかれましては公私とも、何かとお忙しいところ、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

本日の会議は、遠藤委員が所用のため遅れての出席となりますが、過半数の委員に出席いただいておりますので、生駒市病院事業の設置等に関する条例施行規則第5条第2項の規定により、会議は成立しております。

また、本日の会議は「生駒市の附属機関及び懇談会等の取扱いに関する指針」第12条の規定により、公開しております。また、議事録作成のため、録音させていただきますので、ご了承下さい。

前回の第24回会議は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いWeb会議とさせていただきましたことから、今会議は、委員の皆様が一堂に会しての初めての会議となります。委員の皆様を、紹介させていただきますので、お名前をお呼びしましたら、着席のままその場で一礼の程よろしくお願い致します。

生駒市病院事業推進委員会 委員長  
帝塚山病院・帝塚山リハビリテーション病院総院長  
大阪急性期・総合医療センター名誉病院長 福並 正剛 様

副委員長  
生駒市医師会代表 一般社団法人 生駒市医師会 会長  
溝口 精二 様

奈良県医師会代表 一般社団法人 奈良県医師会 監事 友岡 俊夫 様

生駒地区医師会代表 生駒地区医師会 顧問 梅川 智三郎 様

市民代表 栗辻 俊夫 様

同じく 奥田 陽子 様

同じく 志垣 智子 様

市議会代表 生駒市議会議員 伊木 まり子 様

関係行政機関職員 生駒市消防長 福田 一仁 様

指定管理者代表 生駒市立病院 院長 遠藤 清 様

以上10名の委員の皆様でございます。どうぞよろしくお願いいたします。なお、本委員会の事務局は、市職員及び指定管理者医療法人徳洲会の職員が務めさせていただきます。

**【事務局(市)】** それでは、会議次第2としまして、 生駒市長 小紫雅史からご挨拶申し上げます。

**【小紫市長】** 大変お忙しい中、また年度末のお忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。前回は、新型コロナウイルス感染症の影響でWeb会議ということになりましたが、福並委員長におかれましては、その時はご挨拶もさせていただいておりますが、改めましてお世話になりますことよろしくお願い申し上げます。

また、委員の皆様におかれましても、コロナ禍の大変お忙しくされている中で、前回のWeb会議にもご対応いただき、また本日もお集まりいただきましたことを心から感

謝を申し上げます。

市立病院の関係ではございますけれども、まずは何ととっても、新型コロナウイルス感染症が非常に大きな影響を及ぼす1年ということでございまして、市立病院も例外ではございませんし、ここにおられる皆様には本当に大きな影響があったと思います。

医療関係者の皆様を中心に、生駒市立病院には、コロナ対策に関しましては大変お力添えをいただきました。特に生駒地区医師会の皆様にはドライブスルー型の地域外来検査センターの設置や、新型コロナウイルスワクチンに関しまして、ほとんど毎日とっていいような形で、調整をしていただいていますことを、この場をお借りして感謝を申し上げます。

生駒市も落ち着いてきていたのですが、奈良県内でも変異株も発見され、今日も奈良県の感染者は2名ですが、2名共生駒市の方です。生駒市においては、ステージ2に落ちておりますが、ステージ3に戻りつつあるくらいの感染者数が出ているということで、全く予断を許さないというような状況でございます。

その中で市立病院の運営をどのようにしていくのか。入院患者の受け入れなども進めておりますが、新型コロナウイルス感染症の対応もきちんとしていかなければならないというような状況でございます。そういう意味で、病院運営には複雑さというかそういうものも出てきている状況でございます。

また一方で5、6年経って病院事業も新型コロナウイルス感染症が発生する前は、一定課題はあるにしても軌道にのりつつあるかなというところも見えてきていたところに、また新型コロナウイルス感染症ということでなかなか難しいものだと思いながらの運営になっておりますけれども、指定管理者と共によりよい市立病院の運営をしっかりとお届けして参りたいと思いますので、よろしくご指導いただきたいと思います。

本日は諮問案件が1件と報告案件が1件の2件ということでございます。遅い時間ではございますけれども色々ご審議賜りますようによろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

**【事務局(市)】** 諮問案件に入らせていただく前に、本日の配布資料について確認をさせていただきます。

- ・生駒市病院事業推進委員会 第25回会議次第

諮問案件としまして、

- ・令和3年度に係る生駒市立病院の管理運営に関する年度協定書（諮問案）

報告案件資料としまして、

- ・令和2年度生駒市立病院中間報告書

以上でございます。皆様、お揃いでしょうか。

それでは、これより会議次第3「諮問案件」に入らせていただきます。条例施行規則第5条第1項の規定により、委員長が議長となりますので、ここからの議事進行は福並委員長にお願いいたします。

**【福並委員長】** それでは、本日の議題に入らせていただきます。

議事の進行に是非ともご協力よろしくお願いしたいと思います。

次第3 諮問案件について、事務局からお願いします。

**【事務局(市)】** まず初めに、本案件につきまして、市長から委員長に諮問をさせていただきます。

**【小紫市長】** 生駒市立病院の管理運営に関する年度協定書（案）についての諮問でございます。生駒市立病院事業設置等に関する条例第18条第1項第2号の規定により、令和3年度に係る生駒市立病院の管理運営に関する年度協定書（案）について貴委員会の意見を求めます。どうぞよろしくお願いいたします。

（小紫市長から福並委員長に諮問書を手渡す。）

**【福並委員長】** 事務局から説明をお願いします。

**【事務局(市)】** それでは、諮問案件「生駒市立病院の管理運営に関する年度協定書（案）」につきまして説明させていただきます。

お手元の「生駒市立病院の管理運営に関する年度協定書（諮問案）」をお願いいたします。

第1条において、本協定の目的を定めております。

第2条において、年度協定の期間を定めております。

また、市立病院の施設等に係る減価償却費に充てるための負担として、第3条第1項では、毎年、指定管理者から市に支払われる指定管理者負担金の本年度の額を昨年度と同額の266,007,234円としております。

また、第2項では、昨年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、本委員会の開催が令和2年5月となったことから、6月から3月までの10回均等分割払いとしていた負担金の支払回数等を12回均等分割払いとしてございます。

さらに、第3項では支払期日を毎月15日としております。

なお、今回から、支払期日につきまして、休日、日曜日及び土曜日に当たる際の期日を明文化いたしました。

第4条につきましては、金額の変更について、協議のうえ取り決めるものとしております。

次に、第5条につきましては、市から指定管理者に交付する院内保育所の運営経費に係る交付金につきまして、取り決めるものでございます。

第6条は協議事項でございます。

以上が生駒市立病院の管理運営に関する年度協定書（案）の説明でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

**【福並委員長】** ありがとうございます。これより議論いただきたいと思います。

何か、ご意見、ご質問はございますか。

それでは、反対もご意見も無いようでございますので、この「諮問案」を「答申」という形にさせていただくということでよろしいでしょうか。

只今、委員の皆様からご了承いただきましたので、本案を「答申」とさせていただきます。皆様のお手元の「諮問案」の文字を消していただきますようお願いいたします。

**【福並委員長】** 令和3年3月19日に諮問された生駒市立病院の管理運営に関する年度協定書案につきまして、本委員会において慎重に審議した結果、別紙のとおり答申します。

（福並委員長から小紫市長に答申書を手渡す。）

【福並委員長】 続きまして、次第4「報告案件」の方に参りたいと思います。令和2年度生駒市立病院中間報告書について事務局から報告を受けます。説明よろしくお願ひします。

【事務局(市)】 令和2年度生駒市立病院中間報告書についてご説明申し上げます。

令和2年度生駒市立病院中間報告書につきましては、令和2年12月2日開催の生駒市立病院管理運営協議会においてご意見をいただき、確定したものでございます。

1ページ、2ページをお願いいたします。

表の横軸でございますが、一番左端が病院事業計画の欄、右に向かって順に年度事業計画、中間報告、そして2ページ、左側が中間報告の補足説明、右端が取組の評価・課題の欄となっております。

次に、表の縦軸でございますが、1ページから8ページが診療科目、病床数等の基本項目、そして9ページ以降が病院事業計画のコンセプトごとに区分して記載をしております。

それでは、1ページ、2ページの診療科目でございます。計画どおり、診療科目につきましては16診療科でございます。また、中間報告欄の下でございますが、既存の診療科につきましては、小児科、内科、消化器内科、形成外科について常勤医師の確保を図りました。課題といたしましては、今後も地域の医療ニーズや患者動向を注視しながら、常勤医師の確保や更なる病病連携の推進など、質の高い医療の提供を目指すと共に、引き続きより広く専門外来の設置を目指していく必要があるとしております。

次に、3ページ、4ページをお願いいたします。

4ページの補足説明欄にありますように、1日平均病床利用率は令和2年4月から9月につきましては48%、1日最大稼働病床数は141床で、病床利用率では67.1%となっております。課題といたしまして、病床利用率の落ち込みの主な原因は新型コロナウイルス感染症の影響のほか、整形外科常勤医師の不在によるものであることから、不足する診療科の常勤医師の確保に引き続き努める必要がある。また、小児科常勤医師を2名に増員できたことから、北和小児科2次輪番体制への参加を始め、休日夜間応急診療所の小児二次救急医療体制のバックアップ機能をさらに充実する必要があるとしております。

5ページ、6ページをお願いいたします。

人員体制の中間報告欄の医師のところでございます。9月末現在の常勤医師は24名となっております。医師の確保につきましては、常勤医師に関しましてはグループ内転勤により内科1名、医局人事により形成外科1名、勤務希望者の募集等により消化器内科1名、小児科1名及び形成外科2名が入職いたしました。また、看護師につきましては、131名で、その他といたしまして、薬剤師や理学療法士等を合わせて116名、合計で271名となっております。課題といたしまして、救急医療、入院医療を充実させるため、引き続き不足する脳神経外科及び整形外科の常勤医師を確保する必要があるとしております。

7ページ、8ページをお願いいたします。

患者数でございます。中間報告欄の1日平均患者数は、入院患者は1日平均100.1人、外来患者数は1日平均183.9人となっております。補足説明欄、真ん中の参考のところの達成率でございますが、年度計画と比較いたしますと、入院患者数は76.0%、外来患者数は86.2%の達成率となっております。

また、入院・外来の各表の増減欄のところでございますが、入院患者数の増減につきましては、合計で前年度と比べて、入院で1日平均26.7人の減、外来で1日平均25.

2人の減となっております。また、市民への周知の取組のところでございますが、ツイッターの運用に加えて令和2年5月からLINE公式アカウントを開始いたしました。9月現在登録者数は344人で、内容として新型コロナウイルス感染症対策、検診、人間ドック、医療講演会のお知らせ、面会制限、お見舞いメール、インフルエンザの予防接種の案内など、リアルタイムで情報をお届けしております。課題といたしまして、入院患者数、外来患者数ともに計画を下回っているが、新型コロナウイルス感染症の対応を強化するために、不足する常勤医師の確保に努めるとともに、地域の医療機関との病病連携及び病診連携をより一層進める必要があるとしております。

9ページから12ページの質の高い医療の提供でございます。

9ページに記載しておりますとおり、手術件数は全科目の合計で645件となり、補足説明欄の表でございますが、前年度と比べて11件の減となっております。また、分娩件数につきましては82件となっております。

なお、今年度から市の産後ケア事業へ参加をいたしました。課題といたしまして、整形外科において手術対応が可能な常勤医師を確保する必要がある。また、新型コロナウイルス感染症の流行が続く中、徹底した感染管理に努めながら、質の高い医療提供体制を継続して整備する必要があるとしております。

11ページ、12ページをお願いいたします。

いわゆる主要4疾病、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病につきまして、記載のとおり、他病院との適切な連携体制を取っている状況でございます。

13ページ、14ページをお願いいたします。

医療安全管理委員会を月1回、医療安全カンファレンスを毎週1回、計画どおり開催するなど、インシデント・アクシデントに関する事例の分析などを行い、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めました。また、中間報告欄の真ん中でございますが、院内感染対策といたしまして、院内感染対策委員会を毎月1回開催するとともに、ICT合同カンファレンスをグループ病院と合同で偶数月に行い、ICTラウンドを毎週1回、感染勉強会を7月に開催し、院内感染防止活動に取り組みました。さらに、院内感染対策に係る地域医療連携といたしまして、合同カンファレンスに参加いたしました。

なお、新型コロナウイルス感染症対策につきましては、4月14日以降、5階東病棟において重症患者を受け入れ、PCR検査、抗原検査も実施をしております。また、補足説明欄下にありますとおり、面会制限を実施した上で、お見舞いメールの運用等を実施しております。課題といたしまして、今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備えて、院内における感染管理をより一層徹底するとともに、引き続き奈良県を始めとする関係機関と情報交換しながら、新型コロナウイルス感染症に臨機応変に対応する必要があるとしております。

15ページ、16ページをお願いいたします。

地域完結型の医療体制構築への寄与ですが、在宅支援機能の充実といたしまして、医療連携登録医は9月末時点で66施設81名となっております。補足説明欄上のところに記載のとおり、そのうち市内クリニックが29施設35名で、これは市内クリニックの32.6%となっております。また、協力医療機関連携施設は9月末時点で61施設となっております。また、生駒市医療介護連携ネットワーク協議会、在宅医療介護推進部会に地域医療連携室の職員が会員として参加をしております。課題といたしまして、在宅支援機能を更に充実させるために、市内の医療連携登録医を増やすことにより、地域の医療機関との連携強化をより一層図る必要があるとしております。

17ページ、18ページをお願いいたします。

医療機器の共同利用として、周辺の医療機関に市立病院のMRIやCTなどを利用し

ていただいております。利用件数につきましてはMRIが82件、CTが34件、内視鏡が1件、エコーが10件の実績となっております。

次に、紹介、逆紹介についてですが、紹介率は34.8%、逆紹介率は15.2%、また補足説明欄にありますとおり、市立病院が市内医療機関から紹介を受けた割合、すなわち、市内医療機関の市立病院利用率は78.7%となっております。課題といたしまして、医師会との連携は不可欠であり、引き続き入会審査に対応する必要があるため、地域医療機関との病病・病診連携の推進を図る必要があるとしております。

19ページ、20ページをお願いいたします。

救急医療の充実でございます。補足説明欄にありますとおり、救急要請件数が946件、救急受入れ件数が890件であり、救急応需率は94.1%となっております。課題といたしましては、市内内科系2次、外科系1次、2次輪番体制のバックアップに努めており、引き続き関係機関へ協議を進めることで輪番体制への参加を実現していく必要がある。小児科常勤医師を増員したことから、北和小児科2次輪番体制への参加に向けて医療体制を整備する必要があるとしております。

21ページ、22ページをお願いいたします。

救急に対する人員体制につきましては、夜間救急受入れ体制として1名の時間外担当医と1名の常勤当直医の2名、外来看護師2名、放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員、それぞれ1名ずつの当直体制を取りました。また、休日夜間の診療対応レベルは、CTやMRI、エックス線、血液検査全て対応可能となっております。加えて、心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術にも対応可能な体制を整えてございます。課題といたしまして、当直オンコール体制に参加できる脳神経外科及び整形外科の常勤医師の確保に努める必要があるとしております。

23ページ、24ページをお願いいたします。

上段の小児医療体制につきましては、令和2年7月に1名確保いたしまして、常勤医師2名体制になりました。課題といたしまして、小児救急の実施に向けて、引き続き更なる常勤医師の確保に努める必要があるとしております。

次に、中段の災害時医療の確保でございます。8月19日に、消防訓練を実施し、また4月28日と5月27日には、市が開催した新型コロナウイルス感染症に関する今後の対応等の意見交換会に参加いたしました。

続きまして、下段の予防医療の啓発でございます。疾病予防機能の強化といたしまして、医療講演会を22講座開催し、243名の参加があり、そのうちオンラインでの開催を13講座、実施をしております。

また、市民健診につきましては、補足説明欄に記載しておりますように3,313件となっており、前年同期と比較して178件増加をしております。課題といたしまして、市民の健康づくりや疾病予防を促進するためにコロナ禍が収まった折には院内講演の充実に加え、自治会や学校、企業、各種団体、グループ等対象を広げて出張講座を実施し、より一層広域的に市民に啓発する必要があるとしております。

25ページ、26ページをお願いいたします。

上段の市民参加による運営につきましては、例年開催をしておりました健康フェスティバルにつきましては、今年度は6月21日開催予定で準備をしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響がありまして中止とさせていただきます。中段及び下段の環境に配慮した運営及び院内保育所につきましては、ご覧のとおりでございます。

最後に、27ページをご覧くださいようをお願いいたします。

収支につきまして医業収入から医業費用を差し引いた医業利益は、計画のマイナス3,

064万6,000円に対して、マイナス1億5,598万3,000円であり、計画に対してマイナス1億2,533万7,000円になってございます。経常利益につきましては、計画のマイナス1億4,908万円に対して、マイナス2億7,173万4,000円であり、計画に対してマイナス1億2,265万4,000円となっております。

なお今回、令和2年度中間報告について申し上げましたけども令和3年度事業計画につきましては、来る令和3年3月22日開催予定の、生駒市立病院管理運営協議会におきまして会員の皆様のご意見をいただきまして、確定させていただく予定でございますので、確定後に改めてお知らせさせていただきますので、ご理解の程どうぞよろしくお願いいたします。

説明は以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

**【福並委員長】** ありがとうございます。只今の中間報告の説明で意見交換をしていたきたいと思います。どなたかご意見はございますか。

**【志垣委員】** 私からは2点ありまして、まず8ページの右側です。取組の評価・課題の中でLINEですが、今、個人情報保護法の問題でいろいろ話題となっていますが、一旦ネガティブな要素は置いておきまして、先程344人が登録されているということだったのですが、登録者の属性というのはわかるのですか。

例えば、年代とか性別等その程度でもいいのですが、要はそういう人たちが使っているということなので、今後はポジティブに捉えてLINEをもっと幅広く使っていこうという場合はターゲット層を絞って、個別に周知、情報提供できるわけで、その辺の考えはどうかかと思ってお伺いしています。

**【福並委員長】** 遠藤委員が遅れられていますので、事務局でお願いできますか。

**【事務局（指定管理者）】** LINEの登録ですが、まだそこまで詳しい属性はいただいておりません。志垣委員がおっしゃったように細かい情報を流すには非常にいいことかなと思いますので、参考にさせていただきたいと思います。

**【志垣委員】** いいサービスを持っているのに、それを受けたい人達が、情報アクセス権がなくてとか、知らなくてみたいなことで抜け落ちてしまうのが、一番もったいないと思います。ぜひ検討していただきたいと思います。

あともう1点、20ページの救急の患者数です。昨年度と本年度の同時期に比べて手術は減っています。しかし、救急の要請件数はずいぶん増加していると思うのです。令和元年の中間報告より、令和2年の中間報告は100件程増加しています。これは軽症者が多く搬送されたということなのでしょう。コロナ禍で、自治体によっては救急車の利用を控えようという傾向もありますが、生駒市は違う傾向なのかなと思ひまして。その辺の実態はどうなっているのかと思ってお伺いしました。

**【福田委員】** 今の質問にありましたとおり、救急件数につきましては全国的にコロナ禍で減っており、生駒市においても1割程度件数は減っています。市立病院の搬送につきましては、昨年が981件で令和2年中1,013件と微増という形になっています。これにつきましては、生駒市では新型コロナウイルス感染症の専属隊を運用していること、また発熱の患者、見た目軽症の方でも、なかなか受け入れ先が決まらないところ、市立病院では積極的に当初から受け入れていただいているということで、そちらの搬送も増



えています。また通常の救急の患者も市立病院の方で受け入れていただいている患者が多いということかと推測しています。

**【志垣委員】** 表の中で転送率も割合で見ても絶対数で見ても増えているのですか。20ページの真ん中の方ですね。救急患者の転送率というのが前年度に比べて増えているのですけれども、それも今説明いただいたことでよろしいでしょうか。

**【福田委員】** 転送につきましては、市立病院搬送後、その患者の状況に応じて適切な病院に搬送するという形をとられております。そのため、内容については、詳しく分からないのですが、通常は、陽性が確定しましたら、その専門病院へ転送、移送するという形になっておりますので増えているのかと思います。そんなにたくさんの件数はないのですがそういった形で適切な病院への転送をさせていただいていることだと思います。

**【志垣委員】** ありがとうございます。新型コロナウイルス感染症以外のことも要因にあると思いますけれども、他市の救急も転送が前年度に比べて増加しているので同じなのかどうなのか実態をお伺いした次第です。ありがとうございます。

**【福並委員長】** 他にございませんでしょうか。

**【伊木委員】** 中間報告ということで9月末までのデータかと思いますが、この令和2年度は新型コロナウイルス感染症の関係で市立病院に頑張らせていただいていると思うのですが、新型コロナウイルス感染症対応とかこの場でお尋ねしてもよろしいでしょうか。「その他」の所の後程にさせてもらった方がよろしいのでしょうか。

**【福並委員長】** 遠藤委員も来られると思いますので。後の方でお願いします。

**【伊木委員】** わかりました。その様にさせていただきます。

**【福並委員長】** 他にございませんでしょうか。では、私の方から一つ質問させていただきます。

資料の5ページ右側の欄で示されているように、高気圧酸素治療装置を昨年3月に導入されて、臨床工学技士を2名増員されています。「生駒市立病院だより3月号」には詳しく書いてありましたが、その実績等はこれのどこかに載っているのでしょうか。

前年度の計画にはあったと思いますので、ぜひ実績をお聞きかせできませんでしょうか。

**【事務局(指定管理者)】** 対象患者としまして、市立病院に形成外科がございますので難治性潰瘍を伴う末梢神経障害であるとか、外科として救急で運ばれました腸閉塞の患者が結構多く、1月の実績で延べ38件実施しております。

**【福並委員長】** これは他院からの紹介でしょうか

**【事務局(指定管理者)】** コロナ禍で営業ができませんので、院内の紹介になります。

**【福並委員長】** かなり目玉の治療機器ですので広い範囲でご利用していただきたいと思います。徳洲会の病院にこの機器があるのはインターネットでわかるのですが、市立病院の場合は載っていないので最初はやってないのかなと思っていました。ぜひ広報していただきたいと思います。

他にございませんでしょうか。

**【栗辻委員】** 収支のところで質問させていただきたいと思います。

前回の委員会でも議論されたと思うのですが、市立病院の経営状況というのは当然我々市民にとっても非常に気になるところであります。令和2年の中間報告の収入であったり経常損益であったり、計画・報告との差がたまたま前の令和元年の中間報告のときとほぼ乖離額が同じなので、2年連続同じ程度の未達になっているわけです。いろいろと読ませていただくと、整形外科の常勤医師が確保できなかったことが一番の要因のように思えるのですが、その認識でよろしいのでしょうか。

**【事務局（指定管理者）】** 上半期はそれにも増して新型コロナウイルス感染症の影響が多く、外来も入院も計画より大分マイナスになります。10月以降は入院患者数も103人、115人、119人と上昇傾向にございます。外来についても10月から234人、237人、213人と上昇傾向にありますので、経営の方もこの3ヶ月大分回復しております。

**【栗辻委員】** 8ページの入院、外来の整形外科の部分でかなりの乖離がでています。例えば、入院ですと、整形外科で27.2、1日平均とありますが、これが結構大きくて、合計のところとほぼ一致しています。それから、同様に外来で29.1と25.2なので、内容がわからず、数字だけとらまえているので的外れるかどうかかわからないのですが、何となくこれが原因ではないかと思ったので、質問をさせていただいたのですが、いかがでしょうか。

**【事務局（指定管理者）】** 間違いございません。一番大きい要因は整形外科になります。

**【栗辻委員】** 整形外科の欠員のところでかなりのインパクトがあると思われます。ただ、経営だけじゃなくて、市民にとってはそのサービスができないということになりますので、医師の補充のタイミングについて何かコメントはありますでしょうか。

**【事務局（指定管理者）】** 常勤雇用はいろいろあっており、成果がでてないという結果なんですけど、4月からは近畿大学奈良病院の戸川教授に外来診察に来て頂いて、特に脊髄疾患については、戸川教授に紹介をさせていただくような形をとる予定でございます。

**【栗辻委員】** ありがとうございます。

**【福並委員長】** 他にございませんでしょうか。

**【志垣委員】** 少しだけ残念と思ったのは、この資料を配られてから市立病院のホームページを見たのですが、以前から情報の周知が大事と思っていて、12月くらいで止まっていました。トピックスかな、一番表紙のところですか。せっかく頑張られているのにち

よつと残念だなと思って。本当は、1月、2月にいろいろあったと思うのですが、少し気に止めていただいて、アップデートしていただけたらうれしいです。

**【事務局（指定管理者）】** 今、ホームページは、広報担当で完全なリニューアルを実施しておりまして、4月からは新しい見やすい画面になると思いますので、もうしばらくお待ち下さい。

**【志垣委員】** 楽しみにしています。ありがとうございます。

**【福並委員長】** 他にございませんでしょうか。  
ないようでしたら、「その他」としまして、何かございませんでしょうか。

**【事務局(市)】** 新型コロナウイルス感染症患者の状況ということで説明させていただきます。集計は、4月～3月13日という形で年度いっぱいになってないのですが、実績でPCR検査が3,057件、入院の疑似症患者の方は253名、同じく陽性患者は、358名になってございます。ちなみに今年は、1月5日から5階西病棟の個室12床で陽性患者を受けているということで、同じく別の部屋で4床確保していただきまして、疑似症患者を受けているというような状況になっております。

**【福並委員長】** 委員の皆様、よろしいでしょうか。

**【伊木委員】** それ以上の情報はありませんか。例えば358名の陽性の方が入院されたということですが、その内、生駒市民の方がどれくらいだったのかとか、わかりますでしょうか。

**【事務局(市)】** 住所地につきましては、詳しい情報はありません。生駒市内から来られましたというようなものではなくて、全て保健所、あるいは相談をベースに受け入れという形になってございます。生駒市民の数の詳細なデータは把握できておりません。

**【伊木委員】** 奈良県下で、2,000人くらいですかね。感染者は。

**【事務局(市)】** 3,000人くらいです。生駒市が372人なので、その10倍くらいですから、3,500人くらいです。

**【伊木委員】** わかりました。

**【事務局(市)】** 3,489人ということと、陽性の方が358人、つまり1割ではございますけど、市立病院で受け入れていただいています。

**【伊木委員】** とにかくたくさん見ていただいているなど。病床使用率もだいたい60パーセントでしょうか。

**【事務局（指定管理者）】** 最近では、利用率は奈良県下で一番だそうです。

**【事務局(市)】** 市立病院の新型コロナウイルス感染症対応でございますが、取組を時系

列的に整理してご説明させていただきます。昨年4月から帰国者・接触者外来ということでPCR検査がスタートされました。4月14日から重点医療機関という指定を受けた形で疑似症患者の入院受け入れを病棟の4床室を使って5床の疑似症患者の受け入れをスタートしまして、11月1日には、病院の正面玄関前にプレハブを設置して、有熱外来をスタートしました。そこで、PCR検査と抗原検査を実施していただいております。

今年の1月5日からは、陽性患者の入院の受け入れを開始され、5階の病棟で、個室の12床を稼働されています。救急患者の受け入れに関しまして、救急受け入れを拒まれる、発熱患者について拒まれる病院というのは結構、この時期あったのですが、市立病院では、37.5℃以上の発熱患者につきましては、県内でも受入率がトップレベルの高さです。昨年5月から今年の2月までの平均応需率が86.3パーセントということで、奈良県総合医療センターに続いて、県内で2番目か3番目の受け入れ応需率の高さということになります。2月は100パーセントということで、かなり救急受け入れも、市立病院に頑張っていたいただいているということです。

また、ワクチンに関しても、医療従事者対象は、スタートしてまして、今日で1回目が終わっております。また4月からも高齢者のワクチン接種をスタートしていただけるということで、かなり頑張っていたいただけるということをご報告させていただきます。

**【福並委員長】** 新型コロナウイルス感染症の対策で実態は、どうなっているかということで、伊木委員から質問がございました。事務局から概ね答えていただいておりますが、病院職員で新型コロナウイルス感染症にかかった方はありますか。

**【遠藤委員】** 遅れましてすみません。院内の感染者に関しては、今まで、昨年の新型コロナウイルス感染症が始まってから1人でございます。その職員を中心として、患者さんへの感染はありませんでした。一時的に濃厚接触者というものが出ますので、少し濃厚接触者の対応に右往左往しましたが、特に問題もなく収束しました。1月から当院はコロナのPCR陽性患者の受け入れをだいたい50人くらいしているのですが、感染者は誰一人もいません。

**【事務局（指定管理者）】** 伊木委員のお聞きになっていた数値が、わかりました。新型コロナウイルス感染症の陽性患者の新入院は1月が28名、2月が13名、3月が今日現在で15名、合計56名です。

**【伊木委員】** ありがとうございます。一応、市立病院は、中等症から軽症患者を受け入れるとの奈良県の位置づけだと思うのですが、受け入れられた後、重症化して重症患者を受け入れする病院へ搬送されるような患者さんは何人かございましたでしょうか。

**【遠藤委員】** 当院は、軽症患者ということで、始まりました。ところが肺のCTを撮ると、おそらく50パーセント以上は肺炎になられていまして、中には、肺の両側がかなり侵されて酸素が下がる方がおられるので、何となく、なし崩し的に中等症の方から受け入れているという感じです。陽性患者56名の中で、一番若い方で50代、あと70代、80代の計3人の方が低酸素血症ということで、どんどん酸素が下がって行って、人工呼吸器をすればよくなるということで、市の新型コロナウイルス感染症搬送用の救急車で奈良県総合医療センターに搬送させていただきました。

【伊木委員】 小児科の先生も2名になって、PCR検査等ですごくお世話になってと市内の子どもたちから聞いているのですが、お子さんも入院されて治療されたのですか。

【遠藤委員】 奈良県で小児患者はどこで受け入れるということが決まっています、市立病院では受け入れておりません。

【伊木委員】 ありがとうございます。この場で、医師会の先生方には、地域外来検査センターや新型コロナウイルス感染症対策でお世話になっておりまして、ありがとうございますと感謝の意をお伝えさせていただきたいと思います。

【友岡委員】 県において地域医療構想の点で、市立病院は、救急以外は診療、実績も苦しかったのですが、新型コロナウイルス感染症への対応をよくやっています。12床満床という日も、ずっと続いています。令和3年度から地域医療構想の評価というのは、新興感染症への対応は必ず入ってきますので、市立病院の評価も高くなっていくのではないかと考えております。個人的にも公務で出て行くことも多いから、診療・検査医療機関の認定を受けているのですが、これ以上できないということで、よく「市立病院に電話してみたらいかがですか。」と患者さんにお伝えしてまして、たくさん受け付けていただいております、非常に感謝しております。

【福並委員長】 他に何かございませんでしょうか。

【奥田委員】 今回の新型コロナウイルス感染症のこともありますし、この最中に地震が起こったら、多重災害となったらどうするかという不安がございます。そういう時に、生駒市立病院が、地域の先生方と連携がとれていてすごく安心だなと思います。一方で、介抱を受けられている方となりますと、医療と介護の連携しかもそれは災害時とか。新型コロナウイルス感染症に罹っているかもしれない。若しくは介抱をしておられる方が罹ったらどうしようというように様々な問題が起こってくるだろうと考えると恐ろしいなと思ったところです。

市民としましては、医療と医療の連携、医療と介護の連携、防災部門との連携。こういったところの話し合われる場があるといいなと思っています。こちらで、申し上げる場ではないかもしれませんが、その辺があると、より安心なまちになっていくのかなと感じております。

【事務局(市)】 まだまだ、充実する伸び代はたくさんあるのですが、まず、医療と介護につきましては、視点は地域包括ケアというところにスポットを当てながらネットワーク協議会という1つの組織を設けまして、そこで顔の見える関係ということで、色々調整を図っていただいています。これは医療と介護。まだまだ先ほどの話ではないのですが、地域包括ケアというかなり大きな構想でございまして、そういった足がかりをベースにしながら、発展をさせていこうというようなものです。もう1つ、病病連携、病診連携というような言い方をしますが、それは広範囲のエリアで見ていく必要があるということです。今は奈良県で県の地域医療構想という1つの構想を策定されておられます。

そこに5つの区域を設定し、調整会議という1つの運営母体がございまして、その調整会議に基づいて、いろいろと情報共有あるいは検討をする。ここはこういう形で、もう少し力を入れる必要があるというような調整を図りながら、連携を強化しているとい

うことが現行となっております。先の話ではないですけど、まだまだ、先を見れば充実していく必要があることには、変わりはありませんけれども、参考までにということでもよろしく願いできたらと思います。

【奥田委員】 ありがとうございます。今回、新型コロナウイルス感染症の件で市立病院と地域の先生方と連携しておられることがわかって、大変ありがたいですし、安心も出来ます。

最後に、1点質問があります。病院事業計画ですけど、次の改定はいつになるのかということ、どのような取組をされるのかなということをお聞きできますでしょうか。

【福並委員長】 事務局からお願いします。

【事務局(市)】 病院事業計画ですが、3年に1回の見直しとなっており、次年度が改定の年度でございます。令和3年度の11月が期限ということになります。例年病院事業推進委員会を年1回、この時期ですけど開催させていただいていますが、次年度に関しましては、回数も3回くらい開催させていただきまして、今の病院事業計画が生駒市内の地域医療に沿った形でできているのかということ、データで出させていただいて、検討していただくというのが、令和3年度の病院事業推進委員会の課題ということでございます。

【奥田委員】 具体的には何かデータを分析されるのでしょうか。前はレセプトデータを分析されていて、すごく立派な分析でした。

【事務局(市)】 前回、レセプトデータの分析をさせていただきまして、地域医療がどういう傾向であるのかというのを、お示しをさせていただいたと思います。今回もそういう形でいけるのかというのは、今、構想中ですので、具体的にご説明する事はできませんので、よろしくお願いします。

【奥田委員】 データを分析していただいたのですが、加えてデータに出てこない生の声、市民の要望みたいなものが入るといいなと思うのです。一方で市民は意見をなかなか言えないとか、知識が少ない、わかってないと言えないようなところがあるので、そういったものも汲み上げて、データと市民の意見の両方を合せたようなものができたらと思いますので、よろしくお願いいたします。

【福並委員長】 貴重なご意見ありがとうございました。他にございませんでしょうか。非常に活発な討議、審議ありがとうございました。御協力ありがとうございました。

【遠藤委員】 新型コロナウイルス感染症に対応した事で、気付いたこととか、今後ある程度考えていかないことが色々できましたので、少しだけ、皆さんに聞いていただきたいということで、よろしいでしょうか。

【福並委員長】 遠藤委員、お願いします。

【遠藤委員】 今回の新型コロナウイルス感染症という経験のないような疾患に対して、どうしたら良いのか誰もわからなかったところがあると思うんですけど、豪華客船内で

感染者が発生したことであつたり、奈良県で感染者が出たりということで、帰国者・接触者というくくりの中で、帰国者・接触者外来という形で、外来診療が全国で始まりました。

奈良県でも始まり、当院もどうしようかということだったのですが、やはり、生駒市の住民からも感染者が出るだろうということで、結構早く、4月に外来を設置して、帰国者・接触者外来でPCR検査を行ったわけです。

その後、1波が去り2波がちょっと出て、という中で必ず冬あたりに危ないなという事で、病棟を用意して、PCR陽性患者を受けられなくてはいけないというような話を始めました。当初は、9月、10月に開けないといけないだろうという話をしていました。

問題点としては、当院の病棟は、HCUを入れれば5つですけど、それをどうにかしてどこかで分けないといけないのです。その作業が結構大変なのです。それから、風評被害はどうなのだろうとか職員のコンセンサスをどう得るのか、そういう話し合いを散々して、12床の個室にしたのも、やはり感染症ですので、個室管理しようということで、尚且つ、やはり個室でも一般病棟の横の個室ではどうなのか。確実に、1つの病棟を丸々空けて、その中の個室を使ったわけですけど、そういうことをして、クラスターにならずに上手く管理ができたのかと思っています。最近、変異株が少し出てきて、変異株に関しては個室で管理して欲しいという要望が県から来ました。当院は最初から個室ですので、全然問題ありません。

他の病院では、ほとんどPCR検査をしていないところもあるようです。これは、国が検査をしなくても、症状がなければということだったのですが、当院は、検査を結構な回数をしまして、2回陰性でないと基本退院させないこととしました。それに外れる人もいますが、ほとんどいませんでした。

今回そういうことをやっていった中で、まず病院のスペース、使える病床が残っていないと急に転換ができないのです。病院の中に、病床を作るためにとってある所があるので、そこを何とか作って、すぐに使わなくてもいいので、そこを置いておく。こういう時になったら、すぐに使えるような準備をしておく。これが感染症や急激に広がるような疾患に対しては、有効だろうなということを、非常に実感しました。

今回9月にやろうとしましたが、1月までできなかったです。これは、工事をしておけば、できたかもしれないですね。ですから、どうしたらスピーディーになるのか。市立病院ですので、議会とかで承認をどうしてもとらざるをえないのです。その方策が、例えば放射線治療機器を入れましょうとか、癌のこういう機器を入れましょうとかということはいいのですが、それこそ、ちょうど1年ですかね、新型コロナウイルス感染症が始まって。この1年でこれだけの人が新型コロナウイルス感染症に罹って、これだけの人が亡くなっていくような疾患に対して、議会を通さないとは言わないですけど、スピーディーにやれる方法はないのかなというのは、すごく実感としてあります。

普段は、全然思わなかったのですが、新型コロナウイルス感染症に関しては非常に思いました。今回、まだまだ残っているので、それをスピーディーにしてほしいということもありますけど、何かしらほんとに災害的な、例えば「大地震がきて病院が壊れました。議会通すのですか。」という話ですよね。それに近いわけですよね。その辺をうまくできるような仕組みを、盛り込めればなというのは考えています。具体的にちょっと、考えていませんので、どうってことはわからないですけど、実際に感じた事は非常にスピーディーにしたかったのに、もっともっと早くできたのに、というところは非常に感じますし、次の何かこういうことに対して、もっともっと何かできればと思います。それが今回の実感です。

今、ちょっと新型コロナウイルス感染症患者が増えていますから、気をつけてください。一旦、ゼロになりましたけど、また増えてきています。クラスター的ですの、全体が増えているのではないのでしょうか、収束は全然していませんので、マスクをしてちゃんと生活するのは必要だなと感じているのが印象です。

**【福並委員長】** ありがとうございます。非常に努力されて、新型コロナウイルス感染症に負けないように頑張っている姿をお聞かせいただきました。確かに、おっしゃるようすぐに物事が動かないというのは、私も同じような感じを持っております。前の病院では、専用病床を12床増やした時に、看護師を高密度に配置しなくてはいけないというので、2病棟を休棟にして、その人員を使って、新型コロナウイルス感染症病棟に充てていたと思います。市立病院では、そこはどのような対応をされたのでしょうか。

**【遠藤委員】** 完全に1病棟を転換して、52床の病棟を12床にしましたので、人員を新たに投入するということはほとんどいかなかったということでした。それだけでも極端に言えば、4倍手厚くなっているわけですね。その意味で大変だったという訳ではありませんでした。あとは、本来の業務に及ぶと、病院のよく言われる医療崩壊というのは、新型コロナウイルス感染症に手を取られることで、一般の診療の脆弱化にあると思ったので、12床は出来るかなと思って、単独で実施しました。

**【福並委員長】** 休床の補償みたいのはないのですか。

**【遠藤委員】** あります。

**【福並委員長】** それでは、他にご意見ありますでしょうか。

**【伊木委員】** 遠藤委員からの話につきましては議会に報告いたしますし、議会でも市立病院が頑張ってくださっていることも理解しております。承りました。

**【福並委員長】** どうもありがとうございました。それでは、事務局にお返しします。

**【事務局(市)】** 長時間ありがとうございました。本日、ご答申いただきました令和3年度に係る生駒市立病院の管理運営に関する年度協定書につきましては、速やかに締結手続を進めさせていただきます。

次回の病院事業推進委員会につきましては、先程申しましたとおり、令和3年度は、生駒市病院事業計画見直しの年となっております。年3回の開催を予定しておりますので、次回委員会日程等につきましては、改めて日程調整させていただきたいと思います。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。本日は、誠にありがとうございました。

—了—